

R5 牛久土浦 BP・圏央道安全衛生連絡協議会の取組について

R5 年度 牛久土浦 BP・圏央道安全衛生連絡協議会 会長

戸田建設株式会社 小川 敦史



当協議会は工事等の実施にあたり、発注者と受注者において安全対策の徹底を図るとともに、工事現場における公衆災害・労働災害及び事故の防止に寄与することを目的としています。

月に一度の会議では、事前にパトロールを行い、その結果を網羅し、主に以下1～9の記載事項を協議しています。

1. 作業所における安全衛生に関する諸規則・指示・要望事項等の周知徹底
2. 安全衛生管理計画・防火管理計画・警備計画・公衆災害防止計画等の

説明と協議調整

3. 作業間の連絡及び調整に関する事項（盗難対策）
4. 安全衛生対策実施状況の点検パトロールおよび改善指導に関する事項
5. 安全衛生教育・講習会などの実施に関する事項
6. 人身事故及び設備に係る重大事故発生時の原因調査並びにその再発防止対策の樹立
7. 行政官庁からの文書による命令、指示、勧告又は指導を受けた事項のうちの関係事項
8. 安全衛生に関する諸行事に関する事項
9. その他、協議会の目的達成に必要な事項

パトロール対象現場には、目の付けどころや視線を変えるため、橋梁工事には土工事業者、土工事は橋梁業者といった、少しでも現場のためになるパトロールを実施しています。

また、状況をリモート参加者全員に生中継配信をしています。

結果講評について、現地参加者は事務所で80インチのモニターで、リモート参加者には映像で見える化にて、明確で分かりやすく伝わるように実施しています。

同様に、当協議会では、災害事例の動画や最新の建設業の情報として毎月コンストラクションの記事から抜粋し、安全だけでなく品質・環境などの問題についてもディスカッションをし、話題作りにも工夫しています。

最後に、協議会の業者が現場周辺での火災事案において、協力および迅速な対応を行い消防より感謝状を頂きました。安全だけではなく地域にも密着した、人にも環境にも優しい工事で今後とも危険ゼロを目指していきます。

